

美有紀

私も両方とも作った方がいいと思いました。例えばご飯は和食でアメリカからよく輸入しているけど、でも、アメリカ人の人は食べてないって言ってたし、言っていて、で、それがよく食べてないなら、例えば、アメリカには和食があんまりないとか、そういうことになるから、和食のことも少し分かってもらいたいし、で、そんなあまり食べ慣れていない和食だけだと、何か舌が変になっちゃうかもしれないから、洋食も入れてあげた方がいいと思うからです。

アメリカの食についての思いが、授業のなかで随所に見られた。しかし、これはなんの裏付けもなく、子どもたちが自分のイメージで語っているに過ぎない。「ビッグ」だとか、「でっかい」とか「甘いもの」、「こてこてしてくどい」「ごはんは食べない」と、今まで得てきた情報を思い出して語っているのである。このような子どもたちに、アメリカの食事事情について、より詳しい情報が必要だと考えた。

3 アメリカ人の食生活

(1) シカゴにて

シカゴは、スタッドピザとスペアリブが名物である。一般の人が常に食するわけではないが、レストランは大にぎわいであった。スタッドピザはまさしくビッグ。一つ頼んでも3、4人でももてあましてしまうくらいの量であった。子どもたちの「ビッグ」はあたってると言える。

スペアリブは、肉の大きな固まりを、客の要求に応じて切り取り出される。



肉の大きなかたまり
これが切り取られると下のようになる



サラダとポテトがつく
肉ばかりではない



イングランドタイプ
3枚にスライスされていた



これぞ スペアリブ
骨付きでボリュームたっぷり